

一般質問発言通告書

発言順位 16 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 7年 11月 26日
三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 19 番 野村 諒子

質問事項1 過去の取り組み事例から学ぶ、失敗しないための中心市街地活性化とは

具体的な内容 過去の記録によりますと、大社町地区では電線類地中化と合わせて道路整備と交通の見直しを行い、一方通行の道路にすることで商店街の活性化を進めてきました。本来なら別々に議論すべきことを一緒に推し進めることで時間と労力を省くことにつながりますが、ともすると重要な視点を市民に十分説明しないまま判断を委ねることにもなりかねません。大社に向かう旧下田街道の賑わいと、活性化は達成できているのでしょうか。今、新庁舎整備に伴い、中心市街地の活性化が議論されています。本来であれば、市役所がどこにどうあるべきという議論と、跡地利用も含めての中心市街地の活性化はどちらも重要な取り組みであり、一緒にして判断を迫るようなものではないと考えます。旧下田街道の取り組み事例からしっかり学び、今後の三島市のまちづくりの方向性を誤らない為に、慎重な議論を積み重ね、市民の理解を得ることが必要です。三島市の中心市街地活性化についての考えを伺います。

- 1 旧下田街道の現状をどう考えるか。
- 2 新庁舎整備と同時に議論されている跡地利用を急ぐ理由は何か。
- 3 中心市街地のサウンディング調査は、あくまで「こうなった場合は?」という予測に過ぎないと考えるが、それでよいか。
- 4 人口減少社会に対応できるよう跡地を市有地として活用する考えはあるか。
- 5 人口減少が確実に進んでいる中で中心市街地の活性化とはどういう状態のことか、伺う。
- 6 南二日町が整備地となった場合、市役所本庁舎跡地に建設される施設は、現状以上の賑わいをもたらすものとなるか、具体的な計画案はどのようなものか。

質問事項2 「菊のまち三島」を観光の目玉にできないか

具体的な内容 「平安神宮」をテーマとする第73回楽寿園菊まつりが今年も開催され、多くの市民及び観光客が楽寿園内の菊を見に訪れていました。菊まつりでは、東海菊花大会も同時に開催され、今年も大菊をはじめとする見事に育てた菊が数多く展示されて、他の市町にない質の高い展示会場となっていました。

楽寿園菊まつりは楽寿園が開園された年より始まり、当初は菊人形なども展示され今以上の展示会の出品数もあったようです。当時から73年という歴史を積み重ねてきたことは、三島市にとって貴重な歴史と文化の積み重ねとなり、これからも守っていくべき大事な事業であると思います。

しかし、近年は菊栽培をする愛好家の皆さんのが高齢化も進み、このままではうまく引き継いでいくことが難しい状況も出てきています。

そこで、この歴史ある三島市の菊まつりを再度、近隣市町にない価値あるまつりとして強化し、楽寿園内だけでなく三島市内全域で菊栽培を推奨し、菊文化を三島市の価値ある文化として観光の目玉にして取り組めないか、伺います。

- 1 菊まつりの73年の歴史をどのように評価し、現状をどう分析しているか伺う。
- 2 近年、花の栽培で観光名所となっている地域が増えてきている現状をどう考えるか。
- 3 菊まつりとガーデンシティとの一体的な取り組みはできないか。
- 4 楽寿園菊祭りと同時に「菊のまち三島」「三島菊まつり」として、全国的な観光名所となるような取り組みはできないか伺う。